

令和4年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第7回議事録（要旨）

日 時：12月8日（木）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員9名（中里委員長、小餅副委員長、高橋委員、木川委員、牛田委員、伊東委員、栗原委員、横山委員、島津委員）

事務局 2名

1 開会

2 議題

（1）平和の日イベントの振り返り【資料1-1、1-2】

・事務局より11月23日に開催した平和の日イベント講演会のアンケート結果について説明。

【委員長】講演など聴く時間には、スライド等の目で見る工夫があるとよい。聴覚に障害のある方や高齢な方もいるので、目で見て耳で聴くことがよい。

【委員】会場の最前列と最後列が座れないようになっていたのはなぜか。

【事務局】最後列は開演後、遅れて来た方のために席を空けていた。最前列を空けていた理由としては、舞台が見えにくいこと、また、講演者がマスクをせずに話されていたため。

【委員】会場のドアに近い席に実行委員が座れば、遅れて来た方の案内がスムーズにできたのではと感じた。また、去年は平和の日にあわせて平和の日イベント講演会と、大石芳野さんのイベントの2企画をやっていたと思うが、何故今年は1つだけなのか。

【事務局】去年は11月23日に平和の日イベント講演会を同様に実施したほか、加えて講演会当日の午前には平和の集いをはらっぱむさしので開催した。去年は平和の日条例制定10周年ということで特別に予算を確保し、大石芳野写真展ほか関連イベントを開催した。今年が通常のパターンである。

【委員】今年が例年通りということで理解した。

アンケート結果を見ると来場者の年齢層は一般向けの夏季イベントの時よりも若干若めにスライドしていると考えられる。平和の日イベントは60代が32%、夏季イベントは70代が43%だった。自由記述の欄にはサヘルさんのお話の続編を、という声があった。いいアイデアだと思う。

また、青少年平和交流派遣団のリアリティのある発表がよかった。団員の家族も報告会だけで帰らず、サヘルさんの講演を聴いて帰ってもらえてよかった。

【委員】サヘルさんの推薦者としても、講演はとてもよかったと思う。来場者の年齢層はやはり高く、講演者が若い方であってもそもそもが講演会という形式だと関係ないのかもしれない。若者も知っているだろうと思いサヘルさんを推薦したが、講演会ではない他の発信の仕方を考える必要があるかもしれない。多くの方が講演内容について、よかったと言っていたが、一方で、会場につ

いてはもっと広い方がよい、古い、などと直接ご意見をいただくことが多かった。

【事務局】例年、スイングホールで開催することが多い。公会堂は例年に比べれば広い会場であった。施設自体は古く、エレベーターもないが、現在改修を進めているため、今後変わっていく。

【委員】公会堂の改修等に関するワークショップに参加した。今後、良くなることに期待したい。講演者が若い方であっても若年層が来ないということであれば、具体的な策はないが、今後工夫したい。以前、NHKでウクライナの方の演奏会について放送されていたのを観た。テレビや新聞の方へ声を掛けることはできないか。

【事務局】講演会等のイベントについてはプレスリリースを行っている。記者会見はスケジュール等の関係でできなかったが、新聞社等のプレスに対しては情報は流している。「平和を願うミニコンサート」のようにインパクトのあるイベントにはたくさんの取材がくるので、企画内容によるかと思う。今後もお声掛けしていきたい。

【委員】夏季イベントの時よりもちらしが明るいデザインでよかった。ちらし配布については、むさしの平和月間（市民団体）が作成、発行をしている平和関連イベントの総合ちらしに市の平和イベントのちらしを挟み込めば 7,000 枚配布することが可能だったが、既にちらしの行き先は決定しており、市の配布するタイミングに合わせる必要があるとのことで、できなかった。次回はそのような配布もできるとよい。

【事務局】むさしの平和月間のちらしが配布するタイミングに合わせることは難しい。また、各団体の活動をPRするために作成、発行されているかと思うが、掲載内容には刺激的なものもあり、センセーショナルな内容が含まれていたため、総合ちらしに関するご意見が事務局へ届いた。市のイベントが最後に目立つように掲載されていたため、ちらしの発行元と混同された方もいた。広報の仕方や様々な声があることを考慮する必要がある。

【委員】総合ちらしに関する苦情や問い合わせが市に届いたということか。

【事務局】お見込みのとおり。

【副委員長】誰が主催者か分かりやすいように記載があるとよい。

パネル展について、プレイスでの開催は1日だけなのはなぜか。

【事務局】会場であるプレイスギャラリーを使用する場合には、職員が常駐する必要があったため1日としていた。その後変更があり常駐の必要がなくなったが、その時には既に日程は決まっていたことによる。来年以降はもう少し長く設定できると思う。

【副委員長】市役所と吉祥寺駅南北自由通路はなこみちでのパネル展は観に行った。市役所でのラジオ中継は分かりやすくよかった。

(2) 令和5年度 憲法月間記念行事について【資料2-1、2-2、2-3】

- ・事務局より憲法月間記念行事について説明。
- ・講演者は投票の結果、第一希望：西原春夫氏、第二希望：松元ヒロ氏、第三希望：田中優子氏、第四希望：伊藤真氏となった旨を説明。

【事務局】西原春夫氏については、94歳になられたということで、早めにお話を聴く機会として、研修会のようなかたちで、お話いただく機会を別に設けたい。体力的な部分での問題もあるかと思うので、実行委員会研修会としてビデオをまわし、記録が残せる状態でお話を聴かせてもらえないかアプローチしたい。年明け2月、3月あたりで検討し、可能であれば実行委員だけでなく市職員にも研修の一環として一緒にお話を聴かせていただける機会として使えないかも含めて西原先生にお伺いしたい。

→賛同。

松元ヒロ氏については、順位はお示ししているとおりだが、なかなか公がやるイベントとしては周りを見ても出てこない。活動内容としては非常におもしろいと思うが、お考えを持って活動されているため、役所が実施する内容にしてはなかなかチャレンジングであるというような意見もあり、理事者も含めて庁内で検討をした結果、田中優子氏、伊藤真氏、松元ヒロ氏といった順番でお声がけする方がよいのではというご提案をしたいと思っている。もし、よろしければ例年1月くらいからアプローチしているが、お忙しい方が多く、時期として遅いなと思うことがあるため年内にお声掛けを始めたい。こういった順番で、ということをお話していただき、決まれば事務局よりアプローチを開始させていただきたい。

【副委員長】講演者へのお声掛けについて、西原春夫氏の体調と松元ヒロ氏の講演内容を考慮して声掛けの順序を決定する。

【委員】西原春夫氏の健康面については理解できるが、田中優子氏、伊藤真氏に声を掛けて断られた場合でも、その次には松元ヒロ氏には声を掛けないということか。

【事務局】そのことも含めてご検討いただきたい。

【委員】松元ヒロ氏をお招きするのはチャレンジングでおもしろいと思う。若い人が興味を持つきっかけにもなると思う。市役所として批判はあるかもしれないが、候補から外さなくてもよいのでは。

【委員】理由を知ったうえで考えたい。松元ヒロ氏に講演者として声を掛けることをためらう理由はこういったことか。

【事務局】特定の政党批判等があることや、他の自治体等の主催事業としては行っていないこと等を総合的に考慮した。

【委員】特定の考えを持っているのは他の講演者にしても同じだと思う。

【委員】市として政治風刺が気に入らないということか。

【委員】行政が開催する行事として、市民からのハレーションが心配ということなのは。

【事務局】実行委員会も共催の立場であることから、様々な意見があり、イベントとして対応が難しくなることも含めて勘案した上での提案である。

【委員】斬新でおもしろいと思う。

【委員】講演内容については講演者に注意事項等を伝えているか。

【事務局】講演内容について、事務局から「こういった内容を～」という制限などはせず、基本的にはお話される内容はおまかせしている。

- 【委員】票数をひっくり返すような根拠にはならないと思う。
- 【副委員長】推薦者のため発言しにくいですが、投票結果は曲げない方がよいのではないかと。松元ヒロ氏が講演者であれば人も集まると思う。
- 【委員】市側の見解を聴いたうえで、声掛けの順序をどうするか。
- 【委員】理由を聴いて納得感があればと思ったが、票をひっくり返すほどのことではないように思う。
- 【副委員長】講演者へのお声掛けの順序は投票結果のままでもよいか。
→賛同。
- 【事務局】一度持ち帰り、対応について検討する。また、メール等でご連絡させていただきたい。

- 【副委員長】絵手紙のテーマを決定する。
→委員提案、多数決の結果「平和」に決定

(3) 研修会について【資料3】

- ・事務局より研修会（案）について説明。
- 【副委員長】なるべく皆さんの参加可能な日に実施したい。
→2月8日が最も参加者数が多い。
- 【委員】本日欠席の方にも一応確認していただきたい。
- 【事務局】委員全員が参加というのは難しいかもしれないが、参加者数の多い日に実施したい。後日、日程等をお知らせする。

(4) その他

- ・次回の委員会は、1月26日（木）午後6時15分～かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会